

Development of Data-based Automatic Simulation Modeling Method in Central Heat Source System

金, 恵美

<https://hdl.handle.net/2324/4784381>

出版情報 : 九州大学, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏名	金 惠美		
論文名	Development of Data-based Automatic Simulation Modeling Method in Central Heat Source System (データに基づく空調熱源システムシミュレーションの自動構築手法の開発)		
論文調査委員	主査	九州大学	教授 住吉 大輔
	副査	九州大学	教授 尾崎 明仁
	副査	九州大学	准教授 蕭 耕偉郎
	副査	慶尚国立大学	副教授 宋 永学

論文審査の結果の要旨

本論文は空調熱源システムのシミュレーションモデルをデータに基づいて自動的に構築するための手法を提案し、その計算精度と課題を明らかにしたものである。接続モデルの構築において自動化できていない部分があり課題が残るものの、不具合検知診断が行える機器のモデル化手法、入力変数の選択手法や全体の計算精度など、モデル構築の自動化に向けて数多く重要な知見を示しており、学術性に優れ、工学的有用性が非常に高い。モデル構築の自動化は、空調熱源システムの適切な管理・運用とエネルギー削減を実現する上で重要であり、本論文の成果は建築設備工学に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。